

# 特集

取材・清水 高  
山田清志  
関根利子

# 地域から感謝される 企業になろう

企業にとって大事なことは、利益を上げるのはもちろんのこと、顧客、地域から「あの会社は本当に必要な会社だ」と思われることではないだろうか。企業の社会貢献への意識が高まりつつある中、今号では、地域に対する真摯な取り組みを続ける会社を訪ねた。



## 「農業の6次産業化」で まちを元気にする

### 伊賀の里モクモク手づくりファーム

三重県伊賀市

忍者の里として知られる三重県伊賀市。その北部に位置する人口8000人ほどの旧阿山町地区に「モクモク手づくりファーム」はある。運営しているのは、農事組合法人伊賀の里モクモク手づくりファームだ。もともとは養豚農家が集まり、ハムやウィンナーソーセージなどの製造・販売を行っていたが、ひょんなことから始めた「手づくりワインナー教室」が大盛況。それをきっかけに、体験を通じて生産者や消費者、地域住民が交流できる農業公園として事業を拡大し、今では年間50万もの人が訪れる。生産（1次産業）から加工（2次産業）、流通・販売・サービス（3次産業）までを農業と捉えることで、農業の活性化などを通じて地域づくりに貢献している。

する。四方を小高い山々に囲まれ、いかにも忍者の里を思わせる風情である。

JR柘植<sup>つげ</sup>駅から車で約15分。道中には目印となるような建物や商業施設もなく、民家もまばらだ。「道

が違うのでは……」と不安になるころ、ようやく「モクモク手づくりファーム」の看板が見えてくる。

ここは、同ファームが運営する農業公園だ。農業公園とは、農業を主体としたテーマパークといったところだろうか。自然と触れ合いながら農業や園芸、畜産などへの理解を深められる施設として全国各地に広がってきたものだ。

同施設はその草分け的な存在で、昭和62年にオープンした。総面積は約14ha。東京ドーム3つ分の敷地には、農園や牧場、工房、レストラン、宿泊施設などが点在し、子どもから大人まで飽きずに楽しむことができる。

中でも訪れた客に人気なのは、多彩な体験教室だ。ここでは、手づくりワインナー教室や石窯で焼くパン教室をはじめ、季節に合わせた限定企画も開催されている。

ほかにも、牧場で馬に乗ったり、牛の乳を搾ったり、農園でキノコを収穫したりと、多岐にわたる体験ができるのが大きな特徴となっている。

### 特集

### 地域から感謝される 企業になろう

#### 人里離れた山合いに 年間50万人が訪れる！

滋賀県との県境に接する旧阿山町地区は、伊賀盆地の北部に位置



▲同施設の「顔」とも言えるミニブタ。来場者が自由に触れ合えるよう、施設内には十数頭のミニブタが放し飼いにされている